

## テーマ型協働事業に対するコメント概要

事業名	<b>僕たち私たちの考えること「小さな声を聴いてみよう」Ⅲ</b>					
実施団体名	<b>特定非営利活動法人 すくらむハート</b>					
協働団体	①今治市文化振興課 ②今治市ネウボラ政策課 ③一般財団法人今治文化振興会					
テーマ提示課 テーマ	市民参画課 共生社会推進室 共生社会推進の取組					
事業概要	<p><b>【事業目的】</b>            障がいの有無にかかわらず、市民のだれもが相互に人格と個性を尊重し、支え合う「共生社会」について考える機会を創造します。</p> <p><b>【事業内容】</b>            ダイバーシティ・インクルージョン「共生社会」はこれからの中社会・企業に必要な概念です。今回の事業でポスター冊子を作成し、子ども・企業・市民が共生社会を考える場やキッカケを創りました。</p>					
補助額	市補助額	914,000 円	総事業額	1,307,961 円	補助対象経費	1,307,961 円
コメント	実施団体	<p><b>&lt;事業を実施しての効果&gt;</b>            ダイバーシティ・インクルージョン「共生社会」はこれからの中社会・企業に必要な概念です。今回の事業でポスター冊子を作成し、子ども・企業・市民が共生社会を考える場やキッカケを創りました。</p> <p><b>&lt;事業を実施しての問題点&gt;</b>            「大きな事でなく、小さな事を積み上げていくそんな力がためされている時代」共生社会のワークショップにて会場全体で共有した言葉です。この言葉一つだけではキリトリという形で全体像は伝わりません。            多様な方がいる。まず「知るという場」に参加しやすい、または関係者が参加する意欲を持たないと全体的な考えは進んでいかない。            それぞれの個別の問題を抱えた方々はそれぞれのヤードでそれぞれの問題を解決しようとしている。</p> <p><b>&lt;問題点に対する解決策&gt;</b>            個別の問題を抱えたかたがつながる事と一般の方々がいろいろな人が共生し、社会がなりたっているという「ダイバー・シティ・インクルージョン」の方々が集まったイベントを開催。            一般の方と問題を抱えた方が同じ空間にいていろんな人（障がい者・LBGTQ・老人・女性・子ども）がいる状態をつくる。そのイベントを繰り返すことでダイバー・シティの実現につなげていく。</p>				
コメント	市民活動推進委員	<p><b>&lt;総評&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とても立派な冊子ができたので、ぜひ今後有効に活用してもらいたい。せっかくの成果物を生かす取り組みも視野に入れ、今後の方向性を考えてほしい。</li> <li>・全体的にある程度の成果が認められると思う。報告書もていねいに作られており、熱意も感じられる。</li> <li>・協働することで色々な企画が行われ、3回目の事業として定着している。</li> <li>・経費面で事業継続に不安が残る。また、補助対象経費の内、印刷代がほぼ半分を占めている。配布してみんなに読んでもらえるような構成やデザインなどの関係もあるが、現在印刷業者は全国から選ぶことができる。内容によってはそういった選択肢も視野に入れて、資金面で工夫はどうか。</li> <li>・費用対効果は十分にあったと思えるものもあったが、全体的にみると効果が薄かったように思える。参加してほしい層はどこか、どう呼びかけるかでも違ってくるので、その辺りは工夫する余地がある。</li> <li>・相互に支え合う「共生社会」を考えるキッカケとして、様々な企画を試みており参加者も増え、十分な効果が見込まれる。</li> <li>・事業自体は素晴らしいと思うが、費用対効果に少し疑問が残る。もう少し事業効果を生かす報告書を作成したり、イベントの内容をアップするだけにとどまらず、出てきた課題をまとめて、行政やその他へフィードバックすることも検討してもらえたう一つ成果が上がると思われる。</li> <li>・「インクルーシブ・ダイバーシティ」という今求められているものや、当事者参加といった活動を取り入れると良いのではないか。</li> <li>・費用対効果に関しては、参加者数・印刷費などに精査が必要かもしれないが、デザイン性の高い印刷物などを作成することはポジティブなイメージ拡散に効果的である可能性があると思う。</li> </ul>				

## テーマ型協働事業に対するコメント概要

事業名	僕たち私たちの考えること「小さな声を聴いてみよう」Ⅲ	
実施団体名	特定非営利活動法人 すくらむハート	
コメント テ マ 提 示 課	<総評> ・共生社会を目指して、企業や市民に知つていただく機会、考える場を設けることが大切というなかで、本事業を実施していただいたことは、担当課として非常にありがたいと思っております。これまでの「障がいと社会」に特化した活動から枠を超えた「共生社会を考える」という取り組みを、多くの参加者を得て開催されたこと、パンフレットや冊子による周知活動をとおして、事業を効果的に実施できたことを評価いたします。	